

2026 年 7 月 8 日
クニミネ工業株式会社

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、2026 年 3 月期を評価対象期間として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その評価結果の概要を公表いたします。

1. 評価の実施要領

対象者	2026 年 3 月時点での全取締役（計 11 名）
実施方法	全取締役を対象とした無記名式アンケート
質問内容	取締役会の構成・取締役会の運営・社外役員に対する情報提供等に関する設問および前回の課題改善状況ならびに自由記載によるアンケート
評価方法	アンケート結果を集計・分析したうえ、取締役会において評価および課題を確認

2. 評価の内容および認識された課題

当社取締役会は、多様な経験、専門性をもつ社外役員を含む取締役が、自身が果たすべき役割を十分に理解して意見を述べ、審議・意思決定を行っていることから、取締役会の役割を適切に果たし、取締役会の実効性は全体として概ね確保されていることを確認しました。

なお、前回認識した課題である経営上の重点課題に関する議論の機会確保につきましては、資源戦略や安全対策等の優先課題を選定し、取締役会においてこれらの課題に関する議論の場を設けることで改善が図られていることを確認しました。また、中長期的な目標に対する方策等の共有につきましては、2026 年度より新たな中期経営計画をスタートしたことに伴い、関連する議論は活発化したことから改善が図られていることを確認しました。一方、一部で人的資本に関する情報提供が少ないと意見があったことから、今後のさらなる実効性の向上に向けた課題として認識しました。

3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえまして人的資本に関する情報提供につきましては、取締役会において、人材育成・人材戦略の議論を深める機会を設けることにより、改善に取り組んでまいります。また、主に社外取締役に対するさらなる情報提供の充実化を引き続き進めることで、取締役会の実効性のさらなる向上を目指してまいります。

さらに、評価の方法等の改善は引き続き検討を行うことで、ガバナンス体制の一層の強化を図ってまいります。

以 上